

Press Release

【報道関係各位】

2021年6月21日
ポーラ美術館「モネー光のなかに」展
展覧会オリジナルデザート&ドリンクのご案内

2022年3月30日(日)までの期間限定でご提供

ポーラ美術館では、気鋭の建築家・中山英之氏の会場構成でクロード・モネの名品 11 点を展示する「モネー光のなかに」展を開催中です。このたび6月20日(日)より、レストラン・アレイにて、展示中の作品をモチーフにしたデザートとドリンクをご提供することになりました。



クロード・モネ
《ジヴェルニーの積みわら》

<デザート> 積みわら

草原の広がるジヴェルニーの風景を感じられるデザート。栗のモンブランにピスタチオのアイスクリームを添えました。モネ《ジヴェルニーの積みわら》に着想を得ました。

単品 ¥1,200(税込)
コーヒーまたは紅茶付き ¥1,650(税込)



クロード・モネ
《ルーアン大聖堂》

<ドリンク> ル・ソワール

夕暮れ（フランス語：Le Soir）のルーアン大聖堂の色彩をイメージし、グレープフルーツ、マンゴー、ピンクグアバのジュースで表現したトロピカルなドリンクです。モネ《ルーアン大聖堂》に着想を得ました。

単品 ¥700(税込)



<レストラン アレイ>

白で統一されたインテリアが印象的なレストラン「アレイ」。大きな窓から望む緑がまぶしい、明るく広々とした空間で、旬の食材を使った欧風料理から和食まで、幅広くお楽しみいただけます。

営業時間：11時～16時（L.O.） 120席

<https://www.polamuseum.or.jp/restaurant/>

<アレイではスペシャルデザート『睡蓮』も提供中>

モネの代表作「睡蓮」に見立てた、フルーツとエディブルフラワーを浮かべたライチのジュレ。スタッフが仕上げにノンアルコールスパークリングワインをお客様の目の前で注ぐ、華やかな演出のデザートです。

単品¥940（税込）



■「モネ—光のなかに 会場構成：中山英之」概要

ポーラ美術館は、国内最多の19点に及ぶモネ作品を収蔵しています。季節や時間によって異なる表情を見せる、移ろいゆく光を生涯追いつけたモネ。本展示では《ルーアン大聖堂》（1892年）や《睡蓮の池》（1899年）など、ポーラ美術館のコレクションから11点の名品をご紹介します。気鋭の建築家・中山英之がデザインを手がける斬新な展示空間のなかで、モネ作品の新たな魅力に迫る試みです。



クロード・モネ 《睡蓮の池》
1899年 ポーラ美術館

- 会 期**：2021年4月17日(土)～2022年3月30日(日)
主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
協 力：株式会社丸八テント商会、株式会社 遠藤照明、(株)アーテリア
後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
企画協力：株式会社中山英之建築設計事務所、株式会社岡安泉照明設計事務所

■ポーラ美術館について

2002年に神奈川県箱根町に開館。ポーラ創業者2代目の鈴木常司が40数年間にわたり収集した、西洋絵画、日本の洋画、日本画、版画、東洋陶磁、ガラス工芸、古今東西の化粧道具など総数約1万点を収蔵。近年は現代美術にも力を入れている。

正式名称：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

代 表：館長 木島俊介（きじま しゅんすけ）

所 在 地：〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

WEB：<https://www.polamuseum.or.jp/>



<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：田中 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108
 ポーラ美術館広報事務局：屋木、名取 TEL:03-4570-3172
 Mail:polamuseum.pr@prap.co.jp